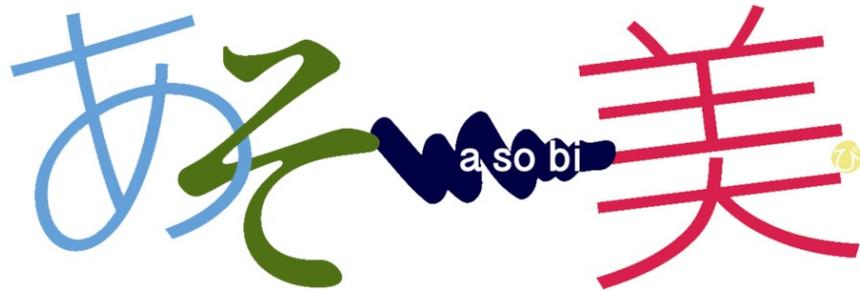


【②見方や考え方について—B:授業をつくる教師の視点】

■「あそ美」美術科ロゴの作成



学習指導要領が改訂され、先生方は新たな気持ちで授業を始められていることでしょう。学習指導要領の「改善の基本方針」のひとつに、「生活の中の造形や美術の働き、美術文化に関心をもって、生涯にわたり主体的にかかわっていく態度をはぐくむ」とあります。

美術をもっと身近に感じ、無理なくどの生徒の記憶にも美術文化として焼きつける、われわれの授業の構想やスキルがますます問われる改訂だと思います。

さて、生徒が主体的に創造や鑑賞の活動をするためには、生徒の気持ちが安定し、課題に集中できる雰囲気は授業に欠かせません。そこで、美術の授業を「あそ美」と置き換えることで、授業全体のイメージを5教科とは一線を画し、心躍るわくわくする授業であるという印象を与えたいと考えました。

授業で使ういろいろなワークシートや掲示物にこのような「美術科のロゴ」を使用することで、「次は美術だ。」という前向きな気持ちを与えられないでしょうか。これも「伝えるデザイン」、PRや広告の効果を学校で取り入れてみても悪くはないでしょう。美術教師もこれからは宣伝マン。美術教育の効果を高め、美術の存在価値を発信していく発想が必要だと思います。

先生方が教育現場で使えるようロゴのデータを用意しましたので、自由な発想でお使いください。

なお、ロゴのデザインは友人のグラフィックデザイナー柳田芳男氏が制作しました。著作権は発生しません。

おくやまこうおう
(奥山 拓央：千葉県流山市立東深井中学校教諭)

<柳田芳男氏プロフィール>

多摩美術大学美術グラフィックデザイン卒業。広告制作プロダクション2社～東急エージェンシーインターナショナル（現フロンテッジ）を経てジェイアール東日本企画クリエイティブディレクター在職。

主な受賞歴：環境広告コンクール環境広告大賞・環境大臣賞、J R 東日本ポスターグランプリ最優秀賞・制作者賞、消費者のためになった広告コンクール銀賞、日本産業広告賞2席、ニューヨークフェスティバルファイナリスト、インターナショナルブロードキャストアワードファイナリスト他。